

# 金融教育研究校のご紹介

金融教育って？



子どもたちの「生きる力」を育む教育です

人が生きていくうえで欠かせないお金（金融・経済）に関する幅広い学習を通じて子どもたちの「生きる力」を育みます。



金融教育の4分野

金融教育には4つの分野があるわよ



金融教育研究校とは？





長野県金融広報委員会が支援します

金融教育の研究・実践を支援するために、長野県金融広報委員会では「金融教育研究校」を委嘱しています。

## 【支援内容】



教育研究費の助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 首都圏など近隣地域で開催されるセミナー等の参加費・交通費</li> <li>◆ 金融学習のための、施設等訪問の交通費（日本銀行松本支店など）</li> <li>◆ 外部講師等（金融教育関連分野）の謝金・旅費</li> <li>◆ 図書・資料等の購入、消耗品の購入</li> </ul>	
資料の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 金融教育の実践指導書</li> <li>◆ 生徒用のワークブック</li> <li>◆ DVD、ビデオテープの貸出</li> </ul>	
講師の派遣	◆ 金融広報アドバイザーや当委員会事務局員を派遣します	

委嘱期間は？



原則2年間です

2年未満の委嘱も可能ですので、ご相談ください。  
年度途中からの委嘱も可能です。



# 金融教育の実践事例

## < 小学校 >

<p>◆ <b>おこづかい帳を記録してみよう!</b></p>	<p>家庭の協力を得て、一定期間おこづかいを定額で児童に与え、お金のやりくりを体験させ、おこづかい帳を記録させる。</p>		<p>学級活動</p>
<p>ねらい</p>	<p>お金の使い方について考えること、お金を使うには責任が伴うことを理解すること、貯蓄することの大切さに気付くことなど</p>		
<p>◆ <b>カレー作りゲームに挑戦しよう!</b></p>	<p>限られた予算の中でカレーの材料を買う方法を考える「カレー作りゲーム」を行う。</p>		<p>総合的な学習の時間</p>
<p>ねらい</p>	<p>お金には限りがあり、「何かを買ったら、何かを買えなくなる」ということを知ること、金銭感覚を養うこと、「希少性」という経済の基礎を理解すること、多角的に考え価値観に基づいて意思決定することなど</p>		
<p>◆ <b>修学旅行のおこづかいを自分たちの手でつくろう</b></p>	<p>農作物を育て、販売し、利益を修学旅行のおこづかいにすることを旨とする。</p>		<p>総合的な学習の時間</p>
<p>ねらい</p>	<p>生産・販売などの体験を通じて、経済の仕組みを学ぶこと、お金を得ることの難しさやおもしろさを感じることで、お金の意味や価値について気づくことなど</p>		

## < 中学校 >

<p>◆ <b>単利と複利の違いを調べよう</b></p>	<p>単利と複利の計算方法を知り、グラフを描き、違いの大きさを理解する。</p>		<p>数学</p>
<p>ねらい</p>	<p>金利に関する正しい知識を身につけ、今後の人生（貯蓄をしたり、お金を借りたりする場合等）に生かすことなど</p>		
<p>◆ <b>企業(会社)をつくらせてみよう</b></p>	<p>企業づくり計画書を作成し、会社説明会を行い、求人や資金調達について検討する。</p>		<p>社会科 (公民)</p>
<p>ねらい</p>	<p>企業や金融について関心を高め、その役割について考え、学ぶことなど</p>		
<p>◆ <b>達人集合 -この人に学ぶ-</b></p>	<p>地域のさまざまな仕事の「達人」をゲストとして迎え、話を聞く。</p>		<p>総合的な学習の時間</p>
<p>ねらい</p>	<p>自分の将来を考えるきっかけをつかませ、望ましい職業観・勤労観をはぐくむことなど</p>		

## < 高等学校 >

<p>◆ <b>「フェア(公正)」な経済行為とは、そして「お金」とは?</b></p>	<p>企業や金融の意義や役割を学んだうえで、経済ニュース(新聞記事等)を基に、「フェア(公正)」な経済行為、「お金」との付き合い方などについて考える。</p>		<p>社会科 (公民)</p>
<p>◆ <b>主体的に判断し行動できる消費者をめざして</b></p>	<p>「これであなたもひとり立ち」などの副教材を利用して実践的・体験的に学ぶことを通じて、消費者として主体的に判断・行動することができる力を養う。</p>		<p>家庭科 (家庭基礎)</p>
<p>◆ <b>ライフコースを設計しよう</b></p>	<p>将来の自分の生き方を想定した生涯収入・支出の予測を立て、収支バランスを診断し、検討しながら将来設計を考える。将来の生活設計や経済設計を立てることの重要性を理解し、自分の生き方や目標達成のための課題について考えさせる。</p>		<p>家庭科 (家庭総合)</p>